



医療法人普門院診療所機関誌

平成21年秋号



政権交代に期待して

平成21年10月

介護老人保健施設 看清坊 施設長
グループホーム能羅坊 管理者



小山 靖夫

強烈な日照りや雷の躍動感に溢れる夏日が少なく、局地的な豪雨被害が多発した今年の夏でした。そして8月終わり頃からは涼しい日が続き、空の雲の動きや肌に触れる風にはしっかりと秋の気配を感じるようになりました。台風11号も被害を残すことなく去って、アキアカネが舞う田に稲が重く穂をたれる実りの秋を迎えました。

この夏の終わり。8月30日の衆議院総選挙では自民党が歴史的な大敗を喫し、民主党が単独過半数に余りある308人を獲得して鳩山内閣が誕生しました。選挙前の世論調査で、多くのジャーナリズムは、民主党が300を超える議席を獲得するだろうという予測をしていましたが、実際そのとおりで、それも民主党の一人勝ちだったのは驚きでした。小選挙区制の特徴が遺憾なく発揮された結果でしょう。また世論調査も最近では方法が洗練されたためか、信頼性を増していることが窺われました。

問題はこれからでしょう。世界の経済変動の流れの中で日本の政権交代が起こったのであって、小泉市場原理政策の破綻、景気後退と、雇用、医療福祉、育児、教育、農政等々国民生活の随所に見られる綻びや痛み、何れもグローバル化した人間社会での一地域での現象(特殊化)です。それらの修復と再出発への道筋は、民主党が責任政党としての確固たる自覚なしに、野党感覚で作りに上げたマニフェストを無理やり実行しようとするなら、不要な混乱を招く怖れがあります。初めて政権を担当する民主党は、**国家百年(と**は行かなくてもせめて**20年)**の計のもとに**政府としての責任**を果たして欲しいと切望します。自民党は茫然自失のようですが、110議席を超える大野党です。真摯な反省の底から出発して力を養い、何時でも民主党に代わり得る健全かつ実力の野党に成長して貰わなくてはなりません。

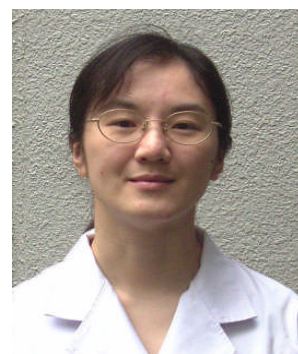
原稿を書き始めてから2週間余が経過して、周辺の田は殆ど刈り入れを済ませ、新米も戴きました。私達医療や介護の現場も、低医療費、低介護費政策の中で色々な問題を抱えながら、職員達は笑顔を忘れずがんばっています。今は苦しくても、先行きに明るさが見える世の中になって欲しいと切に願うものです。

たなか まや

田中 麻香 先生の紹介

氏名 田中麻香
所属 普門院診療所
専門 麻酔科医
経歴

- H.14. 聖マリアンナ医科大学 卒業
聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科入局
- H.16. 聖マリアンナ医科大学 大学院 入学
- H.20. 聖マリアンナ医科大学 大学院 卒業
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 入職
- H.21. 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 退職

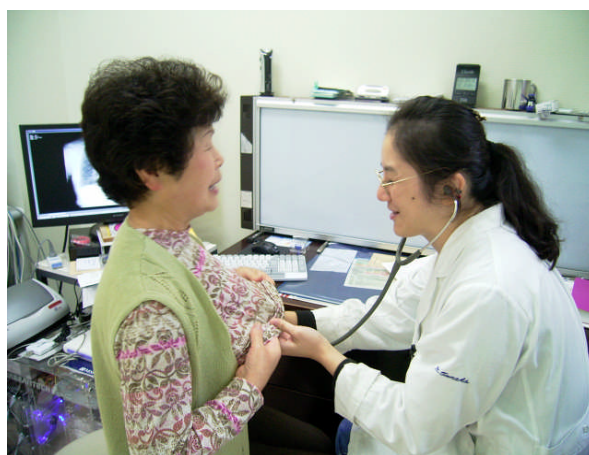


はじめまして、田中麻香です。

聖マリアンナ医大を卒業後、すぐに麻酔科に入局し、同大学病院にて7年間麻酔に従事しておりました。今年の3月、その慣れ親しんだ大学病院を退職し、益子に戻って参りました。数ヶ月は普門院や他の病院で手術の麻酔を担当しておりましたが、この9月からは普門院診療所に勤務しております。また現在は、整形外科を神前先生に就いて学んでおります。大学病院での7年間、最初は研修生であり教えてもらう立場でありましたが、そのうちには、後輩に教えながら共に勉強をし、後半の数年は麻酔科に回ってくる研修医を指導する立場になっておりました。またその7年間の間には大学院にも入学し、研究、学会発表、論文発表を行ってきました。7年間を振り返ると短く感じますが、その中で経験したことや、大学の先生方に教えて頂いたことを医療に関することだけではない様々なことを、ここ普門院で活かしていけるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



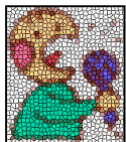
手術中の麻香先生



普門院診療所の先生



ローマ法王謁見中の先生



職員の声



能羅坊介護
宇田川美枝

何か縁があったのでしょうか、看清坊に入って間もなく三年になろうとしています。ここまで続けて来られたのも、回りに方々のおかげと感謝しています。最近グループホームの能羅坊にうつり、色々教えていただいています。これを機会に、さらに心のこもった満足頂ける介護をめざし、技術や知識の修得に努めたいと思います。



診療所事務
吉永真由香

入社してまだ半年ですが、とにかく毎日が勉強です。これから、少しずつですが確実にしごとを覚え、一日でも早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



能羅坊看護師
星野千香

6月より勤務させていただくこととなりました。入居者の方々の人生の大切な時間を共に過ごさせていただける喜びと責任の重さを感じ、一日一日勤務してゆこうと思っています。これからも皆様方に教えていただきながら、“楽しく” “正しく” 努めてゆきますので、どうぞよろしくお願いいたします！



作業療法士
田中

はじめまして。6月より普門院診療所に入職した田中と申します。縁あって栃木に移り住み2年目を迎えました。やっと地域に慣れ、今度は益子の土地やここでの仕事に慣れて行きたいと思います。リハビリで少しでも皆様のお役に立てるよう努力したいと思いますのでよろしくお願いします。

行事スナップ

いちご狩り 5 / 15



のど自慢 6 / 15・19



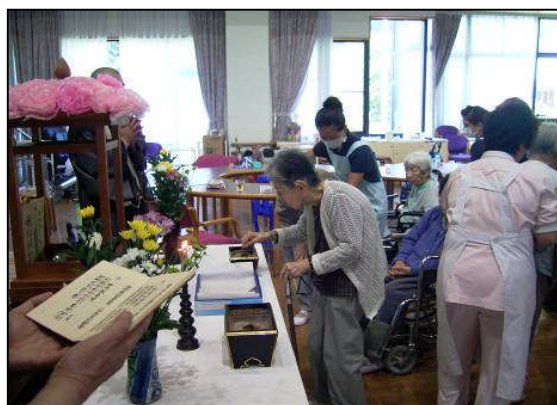
じゃがいも掘り 7 / 7



納涼祭 8 / 1



施餓鬼 8 / 1 5



10月10日は『転倒予防の日』です。□₁

「高齢者の住環境に関する調査（内閣府）」によると、屋外よりも**屋内**での**転倒発生**が多くなっています。転倒により、**骨折や寝たきり**となる方も少なくありません。転倒の原因は、身体要因（筋力・バランス能力など）と環境要因に分けられます。身体要因に比べて、環境要因は比較的容易に対応することも可能です。

そこで、比較的簡単に行える住環境整備のポイントをご紹介します。



Point 1) **動線**から障害物をなくす

□視界に多くの物（情報）が入ると、注意がそれやすくなります

また、とっさの時に壁などに触れられるように動線上から不要な物を排除しましょう

Point 2) **足元を安定**させる

履き物を変える

スリッパは、かかとが浮き脱げやすいので、『ルームシューズ』や『滑り止め靴下』を使用



カーペット類の除去、ズレ防止シートの使用

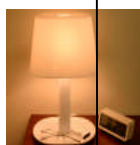
カーペットの四方の縁を『両面テープ』などで固定を行い、『ズレ防止のシート』を敷く



Point 3) **視覚的**にわかりやすくする

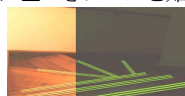
□ **間接照明器具**の設置

- ・夜間でも部屋を照らせるように、枕元に照明を設置
- ・段差などの陰がでる部分にも、照明を設置する



□ **段差・階段に目印**を付ける

敷居に色つきテープを貼り、床材との変化を持たせる



これらは、ほんの一例です。転げぬ先の杖として、簡単な所から住環境整備を実施され、転倒を予防しましょう。

□₁ 転倒予防医学研究会では、10月10日を「転倒予防の日」と制定し、転倒や骨折、寝たきり防止の啓発活動を行っています。

地域参加による災害避難訓練について

看清坊では去る8月25日・9月2日の両日、地元自治会長さんはじめ代表の方々との懇談会を開催しました。これは災害発生の際、地元自治会の協力をいただき安全かつ迅速に避難活動を行い、また地域において災害が発生した場合第一次的避難場所として、看清坊を利用していただく相互協力を確認したのもで、来る10月21日（水）に発生場所を「グループホーム能羅坊」と想定した、地域参加による災害避難訓練の実施を決定いたしました。

特に9月2日は自治会役員の方々が、実際に車椅子を操作するなど、よりスムーズな避難を行えるよう感覚を実感していただきました。

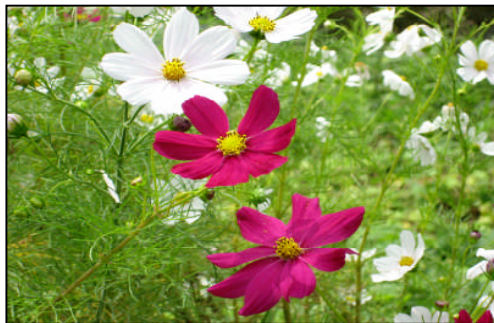
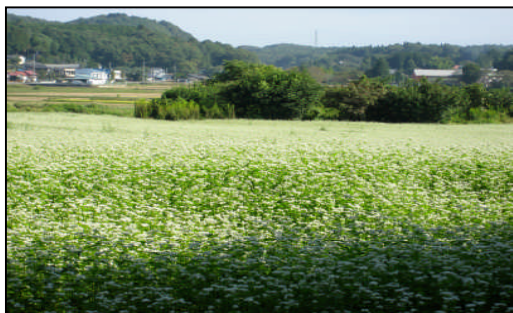


お知らせ

インフルエンザが流行しています。咳エチケット（咳のある方はマスクをする）を守りましょう。高齢者や病人への感染を防ぐために、発熱や咳のある方は面会を1週間以上延期してください。

今後の行事予定

10月	日	和食会
10月26日		運動会
12月18日		看清坊・能羅坊 クリスマスと灌仏会



発行日／ 平成 21 年 10 月 10 日

発行所／ (医)普門院診療所 介護老人保健施設 看清坊
栃木県芳賀郡益子町益子4493 TEL. 0285 - 70 - 1150

ホームページ <http://fumon.jp/>



介護老人保健施設

看清坊

をクリックして下さい